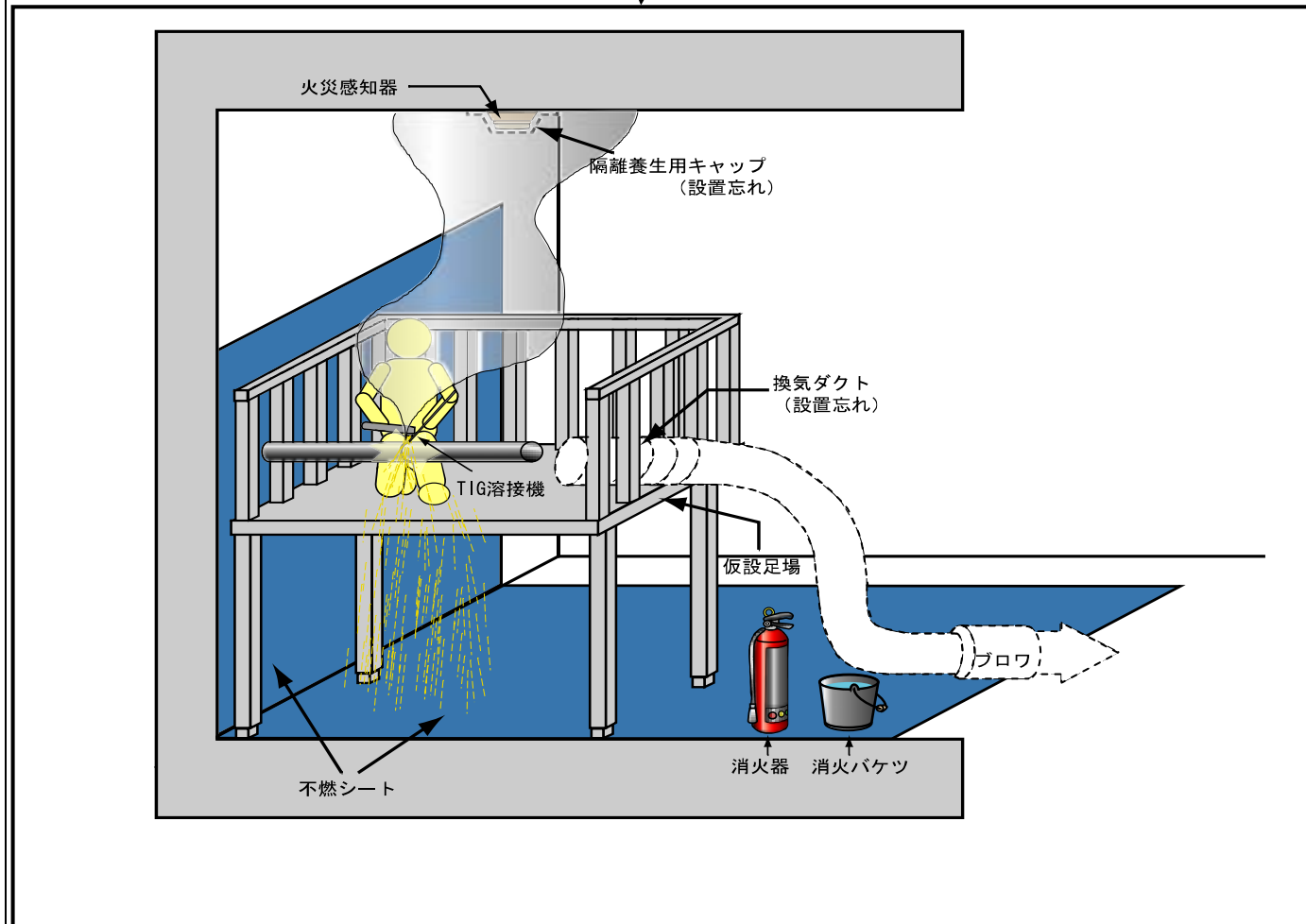
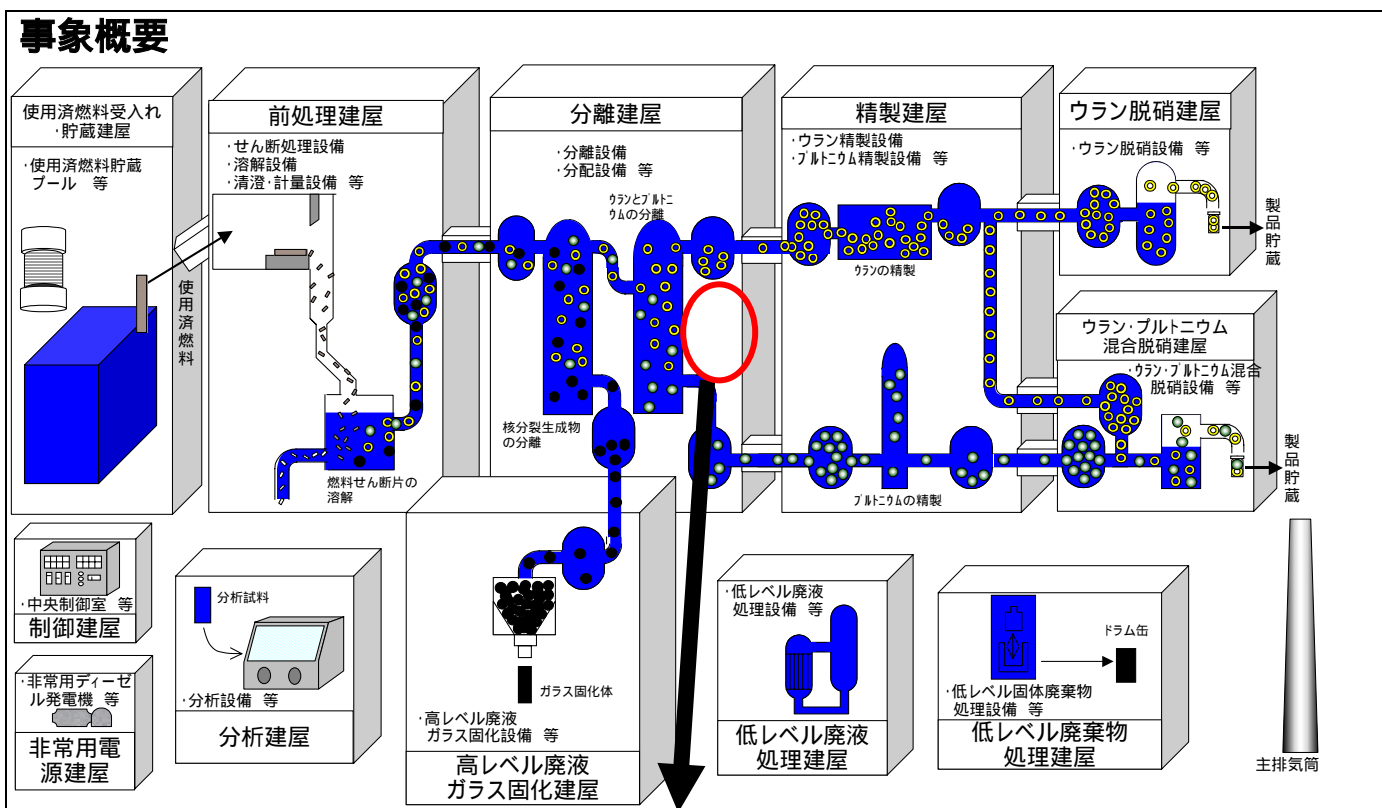


再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-12)

件名	火気作業時における火災報知器の発報
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 発生の状況</p> <p>(3) 概要</p>
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p>(4) 他工程への影響</p>
対応の概要	<p>(1) 実火災がないことを確認する。</p> <p>(2) 換気ダクトの設置、火災報知器の隔離養生(作業中は火気監視員が常駐)を行った後、作業を再開する。</p>



公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)									
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射能物質の外部放出</p> <p>工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>放射能物質による汚染、被ばく等</p> <p>工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等</p> <p>多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
	0以下		1	2	3	4	5	6	7	
	(b) 運転システムを切り替えて復旧									
	(c) 当該機器を停止して復旧									
	(d) 当該設備を停止して復旧									
(e) 影響範囲の設備を停止										